

■準則第6（審査基準）第1項の審査要領

- ・準則第4第1項第2号の活動実績報告書の内容を確認し、「一の（１）」①から⑤までのいずれか、「一の（２）」、「二」①から④までのいずれか及び「三」、「四」いずれにも該当する場合のみ審査基準を満たすものとする。
- ・なお、第4第6項及び第7項の規定により聴取した意見等を踏まえて審査を行うものとする。
- ・平成30年3月31日以前に道路管理者と協定等を締結して清掃等のボランティア活動を行ってきた実績が確認できる場合は、一及び三の「5年間」は、「2年間」に読み替えることとする。

項目	確認内容	確認方法
一 継続性	道路協力団体として活動を行う道路の区間において、直近おおむね5年間にわたる継続的な道路の管理に資する清掃・除草等の公的活動（これと同等の活動と認められるものを含む）を行っていること。	
	<div> <div>（１）活動実績</div> <div> ① 道路の清掃、植栽の管理、除雪作業等「道路に関する工事又は道路の維持」 ② シェアサイクル施設やオープンカフェの設置等「安全かつ円滑な道路の交通の確保または道路の通行者もしくは利用者の利便の増進に資する業務」 ③ 不法占用物件に関する情報収集・提供等「道路の管理に関する情報又は資料を収集、提供」 ④ 道の駅等における利用者ニーズの調査等「道路の管理に関する調査研究」 ⑤ 道路の適切な利用に関する講習等「道路の管理に関する知識の普及及び啓発」 </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・申請法人等が作成した活動実績報告書により確認 ・①～⑤のいずれにも該当しない場合は、審査基準を満たさない。 ・道路協力団体として②の業務で収益がある場合、その収益に見合う①の業務を実施していない場合は、審査基準を満たさない。（「四 公共性」に同じ）
	<div> <div>（２）継続性</div> <div>直近おおむね5年間にわたり、毎年の活動実績（ただし、不定期で開催頻度の少ないイベントは除く。）がある。</div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・申請法人等が作成している活動実績報告書により確認。 ・継続性が認められない場合には、審査基準を満たさない。
二 協力性	前号の公的活動が、道路管理者等から後援された活動、道路管理者等と共同で実施した活動その他の道路管理者等との協力関係が認められる活動であること。	
	<div> <div>① 当該実績が、道路管理者が行う活動との共催または後援となっている等、公式の協力関係が複数回ある</div> <div>② 当該実績に道路管理者との協働の企画あるいは活動が複数回ある。</div> <div>③ 当該実績に関して、道路管理者から協力に関する表彰実績がある。</div> <div>④ 上記①②③に準じた道路管理者が認める活動実績がある。</div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・道路管理者等後援の道路清掃、不法占用に関する情報収集・提供、道の駅等における利用者ニーズの調査、委員会等に共催・後援・委員等に参加していることが分かる資料（協議書、申請書、委嘱状、表彰状等）等（写し）の活動実績報告書への添付により確認。 ・①～④のいずれにも該当しない場合は、審査基準を満たさない。
三 活動姿勢	直近おおむね5年間に於いて、道路管理若しくは他の民間団体等の道路管理に資する活動の支障となり、又はそのおそれがある行為を行っていないこと。	
	当該法人等が道路管理や他の民間団体等の道路管理に資する活動に対して、支障となり、又はそのおそれがある行為を行っていることが確認できた場合には、審査基準を満たさない。	
四 公共性	道路協力団体として法第48条の24第2号に掲げる業務を行い、それによる収益を得たことがある場合には、その収益に見合う法第48条の24第1号に掲げる業務を実施したと認められること。	
	道路協力団体として※、収益事業（オープンカフェ等）を行い、それによる収益を得たことがある場合には、その収益に見合う、法第48条の24第1号に掲げる業務（道路管理者に協力して行う道路に関する工事又は道路の維持）を実施したと認められること。 上記が認められない場合は、審査基準を満たさない。 ※「道路協力団体として」であり、団体として初回の申請には適用しない。	

■準則第 6（審査基準）第 3 項の審査要領

- ・準則第 4 第 1 項第 3 号の活動実施計画書の内容を確認のうえ、下記「一」から「四」までの項目について採点を行い、その合計点が 90 点以上の場合に審査基準を満たすものとする。
- ・ただし、「一」から「三」までの各確認内容のいずれかで 0 点となった場合には、審査基準を満たさないものとする。
- ・なお、第 4 第 6 項又は第 7 項の規定により意見を聴いた場合は、その意見を踏まえ、審査を行うものとする。
- ・配点は、当面の間、下記の通りとする。
- ・配点は、公募の対象となる道路の区間の実情に応じて変更できるものとする。
- ・採点は、「四」を除き、「適確：20 又は 15 点」、「不適確：0 点」「それ以外：10 又は 7 点」とする。

項目	確認内容	確認方法
一 実効性 【配点：30 点】	過去の活動実績を踏まえ、活動実施計画の実効性が認められること。	
	① 過去の実施体制等を勘案し、活動実施計画の適正かつ円滑な実施に必要な体制が確保されている。	【15 点】
	② 過去の活動実績等を勘案し、活動実施計画に妥当性がある。	【15 点】
二 貢献度 【配点：40 点】	法第 48 条の 24 第 1 号に掲げる業務等、道路管理に対する貢献又は地域の課題解消に向けた貢献が認められること。	
	① 期待している具体的な活動内容及び活動区域を理解し、それを踏まえた活動方針、活動メニューがある。あるいは、期待している活動以外であっても著しく貢献度が高い活動方針、活動メニューがある。	【20 点】
	② 活動実施にあたって、道路管理者への協力姿勢があり、円滑な実施が見込まれる。	【20 点】
三 協調性 【配点：30 点】	活動に当たって地域の関係者（関係道路管理者、住民、市町村、他の民間団体等をいう。）との協調性が認められること。	
	① 活動実施にあたって、地域への配慮等があり、円滑な実施が見込まれる。	【15 点】
	② 地域の関係者と連携した活動実施計画である。	【15 点】
四 公共性 【配点：30 点】	法第 48 条の 24 第 2 号に掲げる業務を行い、それによる収益を得ようとする場合には、その収益に見合う法第 48 条の 24 第 1 号に掲げる業務を実施する見込みがあると認められること。	
	道路協力団体としての業務で収益事業（オープンカフェ等）を行い、それによる収益を得ようとする場合には、その収益に見合う、法第 48 条の 24 第 1 号に掲げる業務（道路管理者に協力して行う道路に関する工事又は道路の維持）を実施する見込みがあると認められること。	収益事業を行わない：30 点 左記が認められる：15 点 左記が認められない：指定しない